

国際部から多くの会員が参加されましたが、日本国外では、国家対立、宗教対立、民族対立等々、たくさん問題がある中で、それらの対立を乗り越えて、日本の武道が一つの絆として、本大会に参加されたことは、日本人として大変感じるところがありました。

国際部の演武は、それぞれ平素の修練を見ることができ、我々も大変勉強させていただきました。特に術技ではなく、武道に対する真摯な態度と心は大変感じるところがありました。

国内の各団体の演武は、例年になく心のこもった演武をされたと思います。また、皆様のご協力のもと滞りなく進行をすることができました。進行係を仰せつかりました者として紙面をおかりしまして厚く御礼を申し上げます。

今大会は、記念すべき大会のため、数多くの方が各賞を受賞されました。次回の世界武徳祭ならびに全国武徳祭に向けてそれぞれ心技の練磨をし、元気な姿で旧武徳殿にて演武されますように祈念いたします。

今大会の計画・運営にご尽力いただきました、東伏見総裁、桑原副総裁、濱田代表理事をはじめ、役員の方々に厚く御礼を申しあげるとともに、一般社団法人大日本武徳会のさらなる繁栄と会員各位のご健康とご多幸を祈念いたします。

第五回世界武徳祭・ 第五十四回全国武徳祭 大会管理運営委員に任じられて

至誠館道場 平 松男

昨日とは、打って変わっての寒さの中、東出入口口の警備を申しつけられました。

今日は、武徳会にとって最高の来賓の方がお見えになるといふ事で会場全体に緊張感が、漂います。

IDカードのチェック、写真撮影の禁止等注意事項満載

目を見張らせて一時間の持ち時間、寒いとかく寒い

会員の中には、一人だけ受付をして、カード無で入場しようとする人あり、私服の人あり又午後から来る人あり、声かけて、窓からIDカードを貰う様呼びかける。

会場周辺は。国際部の会員が五メートル間隔に立って目を見張らし一分の隙も無い。

一時間がたった。やっと、交代だ。安堵。又二時間後再び立つ相変わらず寒い。何事なく終了。安堵の瞬間であった。

管理運営に当たられた先生方、国際部の皆さま本当に疲れ様でした。

そして企画、運営の濱田代表理事はじめ大会役員の諸先生方、

第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭の大成功おめでとうございます。